

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（生活環境学科） 合計 18科目 42単位

科目名	単位数	教員名	実務経験	授業内容
こころとからだのしくみⅠ	2単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	人体の構造や機能及びこころのしくみについて、理論だけでなく、看護師としての臨床現場での実務経験を交え、特に「睡眠」「身じたく」「移動」について、介護現場で重要となる留意事項や心理面について、より具体的・実践的な面からアプローチする。
こころとからだのしくみⅡ	2単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	人体の構造や機能及びこころのしくみについて、理論だけでなく、看護師としての臨床現場での実務経験を交え、特に「食事」「排泄」「入浴・清潔保持」について、介護現場で重要となる留意事項や心理面について、より具体的・実践的な面からアプローチする。
チームマネジメント	2単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材の育成や活用等の人材管理、それらに必要なリーダーシップ・フォロワーシップ等、チーム運営の基本を理解する内容とする。現場で起こりうる課題を題材にした事例を活用し、ケースメソッドによる学習を通して業務課題の発見や、リーダー・フォロワーの役割について疑似的に考える内容を、終盤のまとめ授業に位置づけて計画している。事例を活用した能動的な学習を通して、知識だけでなく自らの経験や価値・倫理観を含めた汎用的な能力育成や、介護福祉士としてのキャリアデザインを描く機会となることを期待する。
介護実習	10単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	居宅で暮らす介護を必要とする高齢者、障害福祉サービスを利用する利用者、介護老人福祉施設・介護老人保健施設・認知症共同生活の施設で暮らす利用者の生活、生活支援の必要性や根拠、チームの一員としての介護福祉士の役割、多職種との連携の意義等について学ぶ。また、ICFの構成要素に基づいた情報収集を行い個別ケアの必要性を学ぶ。実習指導者とのショートカンファレンスや教員による巡回指導によって、理論と実践を統合し、主体的に実習に取り組むことを促進する。
		池田奈緒実	介護職員7年	

介護の基本Ⅳ	4単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	授業はオムニバス形式とし、3人の教員がそれぞれの専門的な観点から、介護福祉の専門職としての能力をうために、介護従事者の安全の理解を講義やグループワークを通じて介護従事者の安全の理解を深める内容とする。また、人間と社会・介護・こころとからだのしくみ等の介護福祉士国家試験に向けた2年間の集大成の内容であり、模擬試験で知識の獲得を可視化する。
介護総合演習Ⅲ	1単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	介護実習Ⅱ-①（介護老人福祉施設または介護老人保健施設）の振り返りをおこなう。 介護実習Ⅱ-②（介護老人福祉施設または介護老人保健施設）の取組準備と振り返りをおこなう。 介護実習Ⅰ-③（認知症対応型共同生活介護）の取組準備をおこなう。
介護総合演習Ⅳ	1単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	2年間の実習で培った介護観を基に、自分が理想とする介護サービスのパンフレットを作成しまとめる。
医療的ケアⅡ	2単位	木村 弘子	看護師、看護師長、看護部次長等、30年	演習シミュレーター（訓練モデル）その他演習に必要な機器を用い、喀痰吸引・経管栄養行為の種類ごとに所定の回数（5回以上）を行う。各行為について、国の「喀痰吸引等研修実施要綱（平成24年3月30日）」に定める「基本研修（演習）評価基準」の手順通り実施でき、安全に提供できる技術を学ぶ。急変時の対応、救急蘇生法について学ぶ。
介護過程Ⅰ	2単位	池田奈緒実	介護職員7年	介護過程における一つひとつの思考のプロセスの事例を用いながら学ぶ。特に要介護者を生活者として理解するための情報収集、整理、意味づけ（解釈）を行い、根拠に基づいた介護計画立案へと繋げていく。
介護過程Ⅱ	2単位	池田奈緒実	介護職員7年	「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」で習得した知識や技術を活用し、介護を必要とする人の生活全体をとらえたうえで、課題（ニーズ）を抽出する。さらに、チームケアとして介護過程を展開する意義や方法を理解する内容とする。授業では事例を活用し、対話的に展開する。
介護過程Ⅳ	2単位	池田奈緒実	介護職員7年	介護実習Ⅱで実践した介護過程を事例として客観的に振り返り、これまで学んだ知識・技術、そして取り上げた事例を深めケーススタディに取り組み、発表を行う。

生活支援技術Ⅰ	2単位	池田奈緒実	介護職員7年	介護の意義と目的を理解したうえで、演習を行う。演習では互いに要介護者と介助者を体験し、要介護者の状態や思いに配慮した介護の展開を行う。また、自立に向けた福祉用具の活用や介護を実践する。
生活支援技術Ⅱ	2単位	池田奈緒実	介護職員7年	介護の意義と目的を理解したうえで、演習を行う。演習では互いに要介護者と介助者を体験し、要介護者の状態や思いに配慮した介護の展開を行う。また自立に向けた福祉用具の活用を学ぶ。
介護総合演習Ⅰ	1単位	池田奈緒実	介護職員7年	介護実習Ⅰ-①(訪問介護、通所介護または通所リハビリテーション)に向けて、介護実習の意義を理解するとともに、介護実習に必要な他科目の習得状況を確認しながら、介護実習が滞りなく進行するように実習上の心得を周知する。また、介護実習要綱を参照し、各実習の課題や内容、記録物、準備物を揃え実習に備える。
介護総合演習Ⅱ	1単位	池田奈緒実	介護職員7年	介護実習Ⅰ-①を振り返り、介護サービス提供の意義と介護福祉士の役割について理解を深める。また、グループワークにより情報交換や互いの学びを共有し、自己の課題を明確にする。介護実習Ⅰ-②(障害福祉サービス、)介護実習Ⅰ-③(介護老人福祉施設または介護老人保健施設)に向けて介護実習要綱を参照し、各実習の課題や内容、記録物、準備物を揃え実習に備える。
コミュニケーション論	2単位	酒井 律子	臨床心理士 33年2ヵ月 公認心理師 4年3ヵ月	双方向的コミュニケーションのためのスキルを習得し、自己・他者・集団の理解および協働への視点と態度が育まれることを目指し取り組む。言語及び非言語コミュニケーションとコミュニケーションスキル等について、配布資料をもとに解説する。また、「伝える」「傾聴する」「グループワークによる体験学習」など、実習を交えて体験的に学ぶ機会も設ける。予習・復習等の詳細についてもテーマ毎に説明する。
福祉制度論	2単位	宮崎 明子	介護福祉士 5年1ヵ月	本講義では、高齢者福祉と介護保険制度、障害者福祉と障害者保健福祉制度、権利擁護、生活保護制度について基礎的な知識を教授する。その上で、対象者の生活を地域で支えるという観点から、諸制度の活用についてグループワークにより事例を検討して理解を深める。

社会福祉概論	2 単位	宮崎 明子	介護福祉士 5 年 1 ヵ月	本講義では、社会と生活のしくみを体系的に捉え、人々の生活の安定を図る上で社会保障制度がどのような役割を果たしているかを具体的な事例の検討を通じて理解を深化させる。さらに人々の生活の場である地域社会における生活支援について学び、地域共生社会の実現に向けた制度や施策に関連する諸制度の基礎的理解を修得する。授業では適宜資料を配布する。
--------	------	-------	-------------------	---

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（幼児教育保育学科） 合計 18科目 30単位

科目名	単位数	教員名	実務経験	授業内容
子どもと言葉	1単位	千原 智美	幼稚園教諭、主任、 教頭、園長等、39年	言葉のもつ意義や機能の理解と言葉に対する感覚を豊かにする実践について、長年の教育・保育経験に基づいた具体的な事例を通して学生の理解を深めていく。児童文化財の意義の理解から、具体的な教材作成や教材活用するための環境構成及び援助を考えた実演を通して、学生の教育・保育技術の習得、向上を図る。
保育内容言葉	1単位	千原 智美	幼稚園教諭、主任、 教頭、園長等、39年	長年の経験に基づいた具体的な事例を通して、領域「言葉」の狙いや内容について、他の領域と関連して理解を深め、乳幼児及び子どもの言葉の発達に即したコミュニケーション能力を学び、実践的な指導力を育成する。
教育実習	4単位	千原 智美	幼稚園教諭、主任、 教頭、園長等、39年	幼稚園での職務全般に参加し子ども理解を深めるとともに幼稚園教諭の職務についても学びを深める。また、指導計画を立案し、準備、実践、課題の確認を行う。
		藤原 牧子	保育士10年	
教育方法と技術	2単位	千原 智美	幼稚園教諭、主任、 教頭、園長等、39年	教育方法についての知識・理論について理解を深め、実践的な教育技術を身につけられるようにする。現場での情報機器の活用と情報発信の方法について具体的に学べるようにする。
教育実習指導	1単位	千原 智美	幼稚園教諭、主任、 教頭、園長等、39年	保育実習Ⅰでの経験を振り返り、教育実習の課題を明確化し、実習に向けての準備を進める。具体的には、指導案の作成を中心に学級経営や保育を見る目を養う授業内容を実践的に展開する。
		藤原 牧子	保育士10年	
教職実践演習	2単位	藤原 牧子	保育士10年	幼児教育・保育にかかわるテーマに沿って、課題の発見し、その社会的背景、現状分析、考察の手法を学び、報告書にまとめ、発表する。チームワークやプレゼンテーションの力を獲得できるよう、テーマごとの討議とまとめの発表を随時行い、保育力の向上を図る。
乳児保育Ⅰ	2単位	藤原 牧子	保育士10年	乳児（0,1,2歳児）保育の社会的意義や課題の認識のもと、乳児の生活を支える保育者の心構えや役割について理解することを目指す。乳児の発達過程を踏まえた保育計画の必要性や保育の内容、方法、保育者の役割を学ぶ。また、乳児の発達を保障する環境についての理解を深め、保育者の適切な援助や関わりを学ぶ。保護者支援と他機関連携の必要性について学ぶ。

乳児保育Ⅱ	1 単位	藤原 牧子	保育士 10 年	乳児保育Ⅰで習得した知識を基に、体験的な授業を通して乳児の遊びと援助方法、環境を構成する技術を身につける。また、乳幼児の健康や安全、情緒の安定を図るための配慮について学ぶ。子どもの1日の生活の流れと3歳未満児の発育・発達、個人差に配慮した指導計画の理解を深め、作成する力を身につける。
		宮崎 明子		
保育実習Ⅰ	4 単位	藤原 牧子	保育士 10 年	<p>1. 保育所(または保育所型認定こども園)における実習保育所の役割と機能、保育士の業務内容と職業倫理、職員間の役割分担や連携、保護者支援について理解するとともに保育所保育指針に基づく保育の展開と子どもの発達過程に応じた保育内容、子どもの生活や遊びの環境を具体的に理解する。また、子どもの観察とその記録により、全体的な計画と指導計画および評価と子どもの発達過程や子どもへの援助や関わりへの理解を深める。</p> <p>2. 居住型児童福祉施設等及び障害児通所施設等施設における実習 施設の役割と機能、保育士の業務内容と職業倫理、職員間の役割分担や連携について理解するとともに施設における子どもの生活と環境、子どもの安全対策と健康管理、計画に基づく活動や記録について理解する。また、子どもの観察と記録に基づく省察の実践や個々の子どもの心身の状態に応じた生活への援助や関わりへの理解を深める。</p>
保育実習Ⅱ	2 単位	藤原 牧子	保育士 10 年	保育所(または保育所型認定こども園)における実習保育所の役割や機能の具体的展開、保育士の業務内容と職業倫理、職員間の役割分担や連携について理解するとともに保育所保育指針に基づく保育の展開と子どもの発達過程に応じた保育内容、子どもの生活や遊びの環境を具体的に理解する。また、子どもの観察とその記録により、全体的な計画と指導計画および評価と子どもの発達過程や子どもへの援助や関わりへの理解を深める。
		宮崎 明子	介護福祉士 5年1ヵ月	
保育実習Ⅲ	1 単位	藤原 牧子	保育士 10 年	養護全体に参加し、養護技術を習得する。子どもの個々の状況について理解し、対応の仕方を習得する。特に発達に課題がある子どもや生活環境について理解し、支援の在り方について学ぶ。
		宮崎 明子	介護福祉士 5年1ヵ月	

保育内容総論	1 単位	藤原 牧子	保育士 10 年	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育である幼稚園・認定こども園・保育所における保育の構造を理論的に学び、実践力を養う。また、幼児教育、保育の歴史的背景と海外の保育方法を知り、広い視野で保育を捉える力を養う。 ・アクティブラーニングの視点を取り入れて学ぶ。 ・映像資料や ICT 等を効果的に活用して、具体的な保育場면을イメージしながら話し合い学びの場とする。
保育内容健康	1 単位	藤原 牧子	保育士 10 年	乳幼児の心と体の健康を保証するために必要な基礎的内容を学び、また現代社会の問題点から子どもの健康課題を抽出しこれからの幼児教育の方向性について考察する。領域「健康」にかかわる指導案作成や模擬保育実践、振り返りと評価を行い、主体的に学ぶ機会をもつ。映像資料や ICT 等を効果的に活用して、具体的な保育場면을イメージしながら話し合い学ぶ場とする。
保育内容環境	1 単位	藤原 牧子	保育士 10 年	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児にとっての環境の意義と重要性を捉え、発達を促す環境の在り方を明確にする。 ・領域「環境」にかかわる指導案作成や模擬保育及びその振り返りと評価を行い、主体的に対話的に学ぶ機会をもつ。 ・映像資料や ICT 等を効果的に活用して、具体的な保育場면을イメージしながらグループ間で話し合い進めていく。
子どもと環境	1 単位	藤原 牧子	保育士 10 年	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く環境の具体的な事例について、主体的にグループ討議する。 ・身近な動植物の飼育や栽培や自然物を使った製作など身近な環境を取り入れた保育活動を実体験する。 ・映像資料や ICT 等を効果的に活用して、具体的な場面や保育事例を通じて授業展開する。
保育実習指導 I	2 単位	藤原 牧子	保育士 10 年	保育所および施設実習の意義・目的と内容、実習施設における子どもの人権と最善の利益、プライバシーの保護、守秘義務について理解できるよう必要な知識を獲得する。また、実習に必要な記録の取り方、計画の立案の仕方、保育技術獲得のため、グループワークなどを通して保育実践力を身につける。模擬保育などを行うことから自己の課題を明確にできるようにしていく。さらに、実習を円滑に進めていくために必要な知識や技術を習得し、教材研究を行うことから保育実践力を高める。

保育実習指導Ⅱ	1 単位	藤原 牧子	保育士 10 年	保育実習Ⅰでの実習経験を踏まえ、保育実習Ⅱへ向けて、より実戦的な学びを深める。事前学習では、実習の計画・実践・記録・評価の方法や内容についての理解を深め、指導案に基づく模擬保育や教材づくりに取り組むことから、保育実践力の向上をはかる。保育士の専門性や職業倫理についての知識獲得に取り組み、事後学習では、実習での実践を振り返り、自己評価を行い、自己の課題を明確にすることから自己の課題解決のための今後の学習計画に繋げる。
社会福祉	2 単位	宮崎 明子	介護福祉士 5 年 1 ヵ月	本講義では、社会福祉の役割と意義、法制度と実施体系、相談援助の理論と技術についての基礎的な知識を修得した上で、子どもと家庭を取り巻く諸課題に対する援助について講義・演習を通して理解する。